

旧村松町の紹介



【上空から見た村松町】

村松町は新潟県のほぼ中央に位置しています。江戸時代は堀家三万石の城下町として、戦前・戦中は軍都として栄え、戦後は農業と繊維産業を中心とし、歴史と伝統に培われた教育の町として発展してきました。

また緑豊かな山々と清流に包まれた村松町は、桜の名所村松公園、夏の深緑や森林浴・川遊びを楽しめる奥早出渓谷、実りの秋には栗拾いや、りんご狩りができる観光農園等、自然と人とがふれあえる楽しいいっぱいスポットが沢山あります。

概要

人口	20,514 人 (平成 12 年国勢調査)
世帯数	5,603 世帯
面積	253.07km ²

町章



村松藩の紋所として、長い間使われてきた「釘抜き紋」を緑と白であしらっています。
(昭和 50 年 11 月制定)

町民憲章

わたくしたち村松町民は、次のことを日常生活の信条としてよりよい町づくりと、よりよい町民となるために努力します。

- 1 わたくしたちは、心と体をきたえ
あたたかい明るいまちをつくります。
- 2 わたくしたちは、働くことを喜び
力強くゆたかなまちをつくります。
- 3 わたくしたちは、緑と自然を愛し
住みよいきれいなまちをつくります。 (昭和 50 年 11 月制定)

町の花・木

花:さくら

木:あかまつ

村松の由来

村松の地名の発祥については、よくわかっていませんが、郷社、日枝神社及び寺町の正圓寺は延暦15年(西暦796年)、村社、住吉神社及び清水寺は大同元年(西暦806年)にそれぞれ創建されたと伝えられます。

ですから、村松町は平安時代に早くも一集落を成していたものと思われます。しかし、当時「村松」と称していたかは不明です。

永徳2年(西暦1382年)に日枝神社へ奉納された鰐口に村松山王大権現の刻銘があり、文字ではこれが「村松」として、初めて現れたものです。